

平成20年度第1回 藤島地域審議会次第

平成20年5月29日(木) 午前9時30分
藤島庁舎 大会議室 (3階)

1. 開 会

2. あいさつ

3. 会長、副会長の選出について

4. 説 明

(1) 地域の状況報告について

(2) 平成20年度予算の概要について

(3) 平成20年度の主な事業の概要について

(4) 事務事業調整の調整状況について

5. その他

6. 閉 会

平成20年度 鶴岡市藤島地域審議会委員名簿

平成20年5月29日

委員

敬称略、順不同

No.	氏名	所属団体名・役職等
1	数馬 昭一	藤島町内会長連絡協議会会長
2	齋藤 泰宏	庄内たがわ農業協同組合代表理事専務
3	上林 祐樹	庄内たがわ農業協同組合藤島支所生産組合長会副会長
4	板垣 吉徳	上新田農事組合法人代表
5	井上 馨	藤島認定農業者の会会長
6	小野木 覺	出羽商工会会長
7	阿部 正良	藤島地区民生児童委員協議会会長
8	石川 安彦	藤島中学校PTA会長
9	丸山 鎮	藤島体育協会会長
10	布川 久美子	藤島芸術文化振興会副会長
11	佐藤 尚己	藤島老人クラブ連合会会長
12	今野 多美子	藤島地域婦人会会長
13	齋藤 フミ	出羽商工会女性部藤島支部長
14	上林 節子	庄内たがわ農業協同組合藤島支所女性部長
15	神林 守	出羽商工会青年部長
16	阿部 清二	鶴岡市消防団藤島方面隊長
17	富樫 達喜	因幡堰土地改良区理事長
18	小玉 健	商店経営
19	石川 守	農業
20	上林 淳	農業

※任期:2年(平成20年2月1日～平成22年1月31日)

事務局

No.	氏名	所属名・役職等
1	深澤 一雄	鶴岡市藤島庁舎支所長
2	半澤 正昭	〃 次長兼総務課長
3	丸山 隆逸	〃 総務課総務地域振興主査
4	渡部 秀明	〃 総務課主任
		(鶴岡市本庁舎政策調整室)

地域審議会について

地域審議会は、旧市町村合併特例法第5条の4の規定に基づき、新鶴岡市が処理する旧市町村の区域に係る事務に関し市長の諮問に応じて審議などを行うために、旧市町村ごとに設置するものであります。

なお、同条では、地域審議会を組織する構成員の定数、任期などについては、合併関係市町村の協議により定めることとされており、新鶴岡市については、次のように協議して定められたところです。

1 所掌事務

- (1) 地域審議会は、合併に係る次の事項について、市長の諮問に応じて審議・答申する。
 - ・ 新市建設計画の変更に関する事項
 - ・ 新市建設計画の執行状況に関する事項
 - ・ その他市長が必要と認める事項
- (2) 必要と認める事項について、市長に意見を述べることができる。

2 組織

- (1) 平成27年3月31日までの期間、旧市町村の区域を単位として設置いたします。
- (2) 地域審議会は、その区域に住所を有する20人以内の委員で組織され、委員は、
 - (ア) 公共的団体等を代表する者
 - (イ) 学識経験者

の区分のうちから市長が任命し、委員の任期は2年間となっております。

公共的団体等を代表する者については、

- | | | |
|----------------|--------------|--------------|
| (1) 自治組織 | (2) 農林漁業団体 | (3) 商工観光団体 |
| (4) 福祉、医療団体 | (5) 学校教育関係団体 | (6) 社会教育関係団体 |
| (7) 老人、婦人、青年団体 | (8) 防災組織 | (9) NPO法人等 |

など、各地域における地域社会活動、経済、産業活動等の代表等、各界各層の代表者から就任いただき、幅広く地域課題の的確な把握や意見を聴くことができるよう、委員を選定いたしました。

平成17年10月1日から鶴岡市、東田川郡藤島町、同郡羽黒町、同郡櫛引町、同郡朝日村及び西田川郡温海町を廃し、その区域をもって新たに鶴岡市を設置することに伴い、市町村の合併の特例に関する法律（昭和40年法律第6号）第5条の4第1項の規定に基づく地域審議会の設置を、次のとおり（鶴岡市、東田川郡藤島町、同郡羽黒町、同郡櫛引町、同郡朝日村、西田川郡温海町）と協議して定めた。

鶴岡市、東田川郡藤島町、同郡羽黒町、同郡櫛引町、同郡朝日村及び西田川郡温海町の廃置分合に伴う地域審議会の設置に関する協議書

平成17年10月1日から鶴岡市、東田川郡藤島町、同郡羽黒町、同郡櫛引町、同郡朝日村及び西田川郡温海町を廃し、その区域をもって新たに鶴岡市を設置することに伴い、市町村の合併の特例に関する法律（昭和40年法律第6号。以下「合併特例法」という。）第5条の4第1項の規定に基づく地域審議会の設置について、同条第2項の規定により下記のとおり定めるものとする。

記

（設置）

第1条 合併特例法第5条の4第1項の規定により、次の各号に掲げる区域を対象にして、当該各号に定める地域審議会（以下「審議会」という。）を置く。

- (1) 合併前の鶴岡市の区域 鶴岡地域審議会
- (2) 合併前の東田川郡藤島町の区域 藤島地域審議会
- (3) 合併前の東田川郡羽黒町の区域 羽黒地域審議会
- (4) 合併前の東田川郡櫛引町の区域 櫛引地域審議会
- (5) 合併前の東田川郡朝日村の区域 朝日地域審議会
- (6) 合併前の西田川郡温海町の区域 温海地域審議会

（設置期間）

第2条 審議会の設置期間は、平成17年10月1日から平成27年3月31日までとする。

(所掌事務)

第3条 審議会は、合併に係る次に掲げる事項について、市長の諮問に応じて審議し、答申するものとする。

- (1) 新市建設計画の変更に関する事項
- (2) 新市建設計画の執行状況に関する事項
- (3) その他市長が必要と認める事項

2 審議会は、必要と認める事項について、市長に意見を述べることができる。

(組織)

第4条 審議会は、第1条の区域（以下「区域」という。）ごとに委員20人以内で組織する。

2 委員は、区域に住所を有する者で次の各号に掲げるもののうちから、市長が任命する。

- (1) 公共的団体等を代表する者
- (2) 学識経験者

(任期及び失職)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員の再任は、妨げないものとする。

3 委員は、区域に住所を有しなくなったときは、その職を失う。

(会長及び副会長)

第6条 審議会に会長及び副会長1人を置き、委員の互選によって定める。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 審議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集する。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議長は、会長が務める。

4 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の

決するところによる。

5 会議は、必要に応じ、委員以外の者を会議に出席させ、意見を求めることができる。

6 会議は、公開とする。ただし、議長が必要と認めるときは、会議に諮った上公開しないことができる。

(庶務)

第8条 審議会の庶務は、新たに設置される鶴岡市の区域ごとの担当部署において処理する。

(委任)

第9条 この協議に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この協議は、平成17年10月1日から施行する。

平成20年度 藤島地域行政等状況報告

(鶴岡市 藤島庁舎)

1. 行政組織機構の変更について

4月1日より市の組織機構が変わりました。

- 財政課契約管財室を契約管財課として独立設置
- 市民生活課危機管理室のうち防災業務の担当を危機管理課として独立設置

2. 火災の発生について

4月2日午後3時39分頃出火した、鶴岡市長沼字宮東176番地 大沼清志宅の火災は、木造平屋一部2階建瓦葺住宅延べ234㎡(1階190㎡、2階44㎡)のうち2階寝室13㎡焼損し、消防隊、消防団及び三川町消防団等の出場により午後4時31分鎮火しました。

3. 鶴岡市消防団結団式の実施について

鶴岡市消防団が新たに1消防団9方面隊体制でスタートするにあたり、平成20年4月6日(火)午後3時30分から鶴岡市中央公民館において、鶴岡市消防団結団式が実施されました。山形県議会議長、鶴岡警察署長、鶴岡市議会議長等多数の来賓を迎え、消防団部長以上幹部約300人により開催されました。

4. 有機農業モデルタウンの認定について

有機農業の推進に向け、今年度スタートした国の地域有機農業推進事業(有機農業モデルタウン)に、藤島地域を中心に組織する鶴岡市有機農業推進協議会が全国45カ所の一つに認定されました。今後5年間にわたって有機栽培についての実践者実態調査、適応した土づくりや除草・病害虫対策、新品種「山形97号」の実証調査などを展開し、有機農業技術の安定・向上、循環型社会の実現を図ります。

5. 緊急火災多発警報の発令について

鶴岡市では火災の多かった昨年に比べ、4月18日現在、同期比で14件増加している緊急事態となっております。特に、4月に入ってから12件の火災が発生しており、4月16日からは連続3日間発生し、羽黒地域では住宅2棟が全焼、林野火災では1名が焼死するという惨事となっているため、消防本部では火災多発警報を発令し警戒を呼びかけています。

藤島地域では、4月末までの間、消防団による防火広報、市広報車による広報を行なう予定です。

6. 敬老会の開催について

平成20年度藤島地域敬老会を各地区ごとに4月20日、26日、27日に開催しました。対象者、出席者及び米寿・喜寿該当者の人数は次のとおりです。

単位：人

地 区	対象者	出席者	米 寿	喜 寿
藤 島	910	390	37	65
東 栄	402	192	10	36
八栄島	195	89	4	11
長 沼	258	117	12	21
渡 前	347	201	17	31
合 計	2,112	989	80	164

7. 上林恒平氏 県無形文化財保持者指定について

山形市在住で下蛸井出身の上林恒平氏が5月1日、県教育委員会より県無形文化財保持者に指定されるという栄誉に輝きました。上林氏は鶴岡工業高校を卒業後、昭和42年人間国宝・宮入行平刀匠(長野県)に入門、同48年に作刀承認を受け、以後「新作名刀展」に出品し、高松宮賞、文化庁長官賞等を受賞し、同60年より無鑑査となり、現代の刀匠界の重鎮として活躍されており、今回の指定となりました。また、5月24日から6月8日まで致道博物館において「刀匠・上林恒平作刀展」が開催されており、6月7日午後2時より上林氏による列品解説が予定されております。

8. 田川地区中学校駅伝競走大会 男女とも県大会出場について

田川地区中学校駅伝競走大会が5月13日(火)、小真木原総合運動公園周辺において開催されました。

今年度は、藤島中学校男女とも準優勝で9月に開催される県中学校駅伝大会への出場権を獲得しました。

9. ふじの花まつりの開催について

第17回ふじの花まつりを5月15日(木)から18日(日)まで、藤島体育館周辺を会場に開催しました。

ふじの花は、3月4月の高温の影響で近年になく早い開花となりましたが、ふじの鉢提供者の管理努力と出展協力により95鉢を展示することができました。4日間の開催期間中は好天に恵まれ、昨年より約2,000人増の約6,700人の来場者を迎えて盛会なふじの花盆栽展となり、地域外からも多く訪れました。菓子・農産物などの展示販売に、JA庄内たがわによる「はえぬき麺」の調理販売、鶴岡市各地域を代表する民芸品の展示などを加え、鶴岡の観光物産振興に貢献する企

画を行いました。

17日には「にしん焼き」による観藤会、18日には街なかのふじや街並みを巡るウォークラリーを行い、「ふじの里」づくりに寄与することもできました。

さらにふじの花まつりの充実を図るため、来場者に協力金をお願いし自主財源を作る取り組みを行った結果、103,786円の協力がありました。厚く感謝をしながら、次回の取り組みの充実発展を図るものであります。

10. 仙台市立中野中学校の民泊と体験受入れについて

5月22日から23日まで、仙台市立中野中学校の2年生208名が野外活動の一環として藤島地域を訪れました。(同校は今年で7年連続の訪問となります)

22日は、鶴岡市須走地内の圃場で田植え体験をした後、藤島地域内の農家や一般家庭で民泊を体験。翌23日は、藁細工、そば打ち、笹巻きづくり、いづめこ人形づくり、絵蠟燭の絵付けなどを体験しました。

11. 横浜市みどり共同保育所と戸塚みどり保育園の田植え交流会について

横浜市みどり共同保育所と戸塚みどり保育園の園児と父母、保育士34名が、5月24日(土)、25日(日)の日程で来鶴。両園の給食に採用されている当地域の「人と環境にやさしい農業実践者の会」の農家との田植え交流会を実施しました。

藤島地域での交流会は3年目で、今回は「藤島型特別栽培米」を給食に採用している40ほどの保育園の中から2つの園が参加し、鶴岡市野田目地内の圃場10aで田植えを行ない、9月には稲刈り交流会も予定されています。

平成19年度 藤島地域行政等状況報告

(鶴岡市 藤島庁舎)

1. 副市長の就任について

4月1日付けで、鶴岡市の副市長に前鶴岡市総務部長の佐藤智志氏（千石町・59歳）と、旧温海町長の佐藤正明氏（鼠ヶ関・59歳）が就任しました。この件は、3月23日の市議会3月議会において承認されました。

2. 行政組織機構の変更について

4月1日より市の組織機構が変わりました。

- 市長公室を廃止し、総務部総務課に秘書係、広報広聴係として統合
- 企画部を新設し、企画調整課と地域振興課の2課を設置。なお、情報統計課を廃止し、企画部企画調整課に統合
- 鶴岡地区消防事務組合の解散に伴い、鶴岡市消防事務部局を設置
- 鶴岡地区衛生処理組合の解散に伴い、環境部を環境課・リサイクル推進課・施設課の3課へ再編
- 農業振興課を農政課に、農山漁村整備課を農山漁村振興課に名称変更
- 本所農業委員会事務局を藤島庁舎へ移転したことに伴い、藤島分室を廃止し本所に鶴岡分室を設置

3. 市営住宅の完成について

藤浪二丁目に建築の「鶴岡市営ふじなみ住宅」8戸が3月に完成し、新年度の4月1日より入居を開始しました。

4. 山形県議会議員選挙（鶴岡市選挙区）の結果について

山形県議会議員選挙（鶴岡市選挙区）が4月8日に執行され、結果は次のとおりです。

①投票の結果

（当日有権者数）	男 53,709 人	女 60,931 人	計 114,640 人
（投票者数）	男 34,837 人	女 39,426 人	計 74,263 人
（投票率）	男 64.86 %	女 64.71 %	計 64.78 %

②開票の結果

投票者数 74,263 名、投票総数 74,262 票（有効投票数 73,373 票、無効投票数 889 票）不受理 1 票

(候補者別得票数)

志 田 英 紀	自由民主党	14,417.000 票
阿 部 昇 司	無 所 属	13,703.356 票
阿 部 信 矢	自由民主党	13,506.305 票
菅 原 元	自由民主党	13,155.000 票
笹 山 一 夫	日本共産党	9,987.000 票
田 辺 省 二	社会民主党	8,604.337 票

5. 火災の発生について

4月20日午前11時40分頃出火した、鶴岡市添川字西山619-1番地の林野火災は、面積12a、50年杉1本、10年杉1本を消失し12時36分鎮火しました。火災の原因は焚火の拡大によるものです。

6. 敬老会の開催について

平成19年度藤島地域敬老会を各地区ごとに4月21日、22日、29日に開催しました。対象者、出席者及び米寿・喜寿該当者の人数は次のとおりです。

単位：人

地 区	対象者	出席者	米 寿	喜 寿
藤 島	906	391	32	70
東 栄	410	213	10	35
八栄島	208	94	7	13
長 沼	253	139	7	23
渡 前	347	193	8	36
合 計	2,124	1,030	64	177

7. 平成19年春の褒章について

4月29日、平成19年春の褒章受章者が発表され、鶴岡市藤島消防団長 佐藤吉紀氏が消防功労で藍綬褒章を受章され、5月7日文翔館、同16日に虎ノ門パストラルホテルで伝達式が行われました。

8. 仙台市立中野中学校野外活動について

5月10日から11日まで、仙台市立中野中学校の2年生219名が野外活動の一環として藤島地域を訪れました。(同校は今年で6回目の訪問となります)

10日は、悪戦苦闘しながら約2時間かけ須走の30aの圃場に手植えで田植を行い、その夜は、一般家庭72世帯に分かれ民泊を体験し、庄内の農業と文化を学びました。

11日の体験学習は、そば打ち体験（上林幹夫氏及び櫛引宝谷）、笹巻づくり（JA女性部）、藁工芸（JA藁工芸部会）、陶芸教室（羽黒松ヶ岡）、いづめこ人形づくり（民芸の村木）の6会場に分かれ、農村文化に触れました。

また秋には、生徒達が田植えをした田んぼの米を、一部購入してもらい、実りと収穫の喜びを味わってもらいます。

9. 名寄市老人クラブ連合会の来藤について

5月11日、名寄市老人クラブ連合会一行45名が藤島庁舎を訪れました。歓迎行事のあと、記念撮影を行ない、その後、東田川文化記念館、藤島城址を視察。夜の交流会（湯の浜地内）には、藤島老人クラブ連合会、藤島・名寄交流友の会、藤島庁舎関係者14名が参加し交流を深めました。

翌12日には、ふじの花まつりを視察し、四季の里「楽々」での昼食会のあと午後2時頃に藤島をあとにしました。

10. 第16回ふじの花まつりについて

第16回ふじの花まつりを5月11日から13日にかけて、藤島体育館を会場に開催しました。

ふじの花盆栽展は、暖冬や春の低温など気候の中ではありましたが、開花状況に恵まれ、3日間の開催期間に約4,600人の来場者を迎えながら133鉢の出展されたふじの盆栽を楽しんでいただきました。藤島地域外からの来場者も多く、藤島の銘菓、藤島の酒、ふじの鉢植えなどの販売も好評で盛況なまつりとなりました。

13日の日曜日には、グラウンドゴルフ大会、はしご車、起震車などの体験試乗に加え、街中のふじや観光資源を巡るウォークラリーを商工会員等の運営により実施し、地域振興への取り組みを図ることもできました。

11. 田川地区中学校駅伝競走大会 男女アベック優勝について

田川地区中学校駅伝競走大会が5月15日(火)小雨の降る中、小真木原運動公園周辺において開催されました。

昨年3位と今一步で県大会出場を逃した藤島中学校女子チームは、全員が安定した走りを見せ、大会記録を1分30秒更新する堂々の初優勝を遂げました。

また、男子チームは、昨年の優勝というプレッシャーをはねのけ、2位に1分46秒の大差で優勝し2連覇を果たしました。

男女とも9月8日(土)の県中駅伝大会での優勝が期待できる素晴らしい成績でありました。

12. 火災の発生について

5月16日午前4時00分頃出火した、鶴岡市藤島字鶴巻88-2番地地内で発生した車輛火災は、10tトラックの後輪2本を焼損し4時10分鎮火しました。火災の原因は、ブレーキの不具合による加熱と考えられます。

13. 地産地消とスローフードのつどいについて

5月27日、藤島エコタウンセンターを会場に「地産地消とスローフードのつどい」が開催され、県内各地から約80名が参加しました。

つどいでは、今注目のロハス（健康と環境、持続可能な社会生活を心がける生活スタイル）の聖地と呼ばれる米国コロラド州ボルダーで健康やオーガニック食品のコンサルティングを展開する井沢敬氏及び食の都庄内親善大使を講師に迎え、地産地消の大切さについて理解を深めました。

また、会場内では、在来作物の加工品やオーガニック食品、地産地消料理の試食が行われ、参加者の人気を集めました。

14. 春季消防大演習の実施について

5月26日（土）午後1時より鶴岡市藤島体育館駐車場において、鶴岡市藤島地域春季消防大演習を実施しました。

この演習は、消防の任務を遂行するため旺盛な消防精神を振起し、消防団員の士気を高め各種訓練を演習し、実力ある消防力を確立するため実施しているものです。

当日は、団員505名、分署員14名、婦人防火クラブ員20名の参加により、規律訓練等の各種演習及び記念行事を実施しました。

15. 横浜市苗場保育園、緑園なえば保育園との田植交流会について

5月20日（日）、藤島地域の『人と環境にやさしい農業実践者の会』（会長：鈴木紀生氏）が栽培する『藤島型特別栽培米』を給食に採用していることを縁として、保育園側と栽培農家との「田植交流会」が開催されました。

交流会に参加したのは、横浜市の苗場保育園と緑園なえば保育園の2つの保育園から園児51名、父母と保育士36名の総勢87名と藤島地域からは環境にやさしい農業実践者の会などから25名。

当日は、農家のお母さん方が準備した孟宗汁や大根葉のけんちんなどの郷土料理で昼食を済ませ、会員農家の阿部正志氏が管理する田んぼ（15a）で田植作業を体験しました。小雨と強風で厳しい環境での田植でありましたが、生産農家の指導を受けながら園児や父母たちは元気に作業を終え、命の糧である「米づくり」の大切さと大変さを認識していました。

9月には稲刈り交流会も予定されており、当地域がすすめる安心・安全なエコ農業を直に確認していただく機会であると期待しています。

16. 平成19年度第1回藤島地域審議会の開催について

新市建設計画の変更・執行状況に関する事項等について、市長の諮問に応じて審議する藤島地域審議会を5月29日、藤島庁舎大会議室で開催しました。

今年度第1回目となる審議会では、はじめに委員20人の内、新委員4人に辞令の伝達を行い、副会長選出の後、藤島地域の状況、組織機構の変更、今年度予算の概要について説明を行ないました。

委員からは、農業者・農業組織活性化対策事業（認定農業者への支援）、小学校入学記念品（ランドセル）の贈呈、災害時の水の確保、カラス被害、一人暮らし老人への除雪支援、合併後の評価などについて質問があり、現在の状況について説明をしました。

17. 市民運動会の開催について

6月3日、第49回市民運動会が約4,500人の参加の下、各地区ごとに盛大に開催されました。当日は絶好の運動会日和で青空の下、親睦と交流を深めながら各地区とも予定どおり終了することが出来ました。

18. 6月6日の豪雨災害について

6月6日17時05分、庄内南部に大雨・洪水警報が発表され、コミュニティ防災班が警戒体制をとり情報の収集にあたりました。

道路側溝、用排水路及び河川の状況等巡視しましたが、異常は確認できませんでした。

20時37分大雨・洪水警報が注意報が切り替わりました。

この豪雨による被害の報告はありませんが、強風（降雹）により、添川、鷲畑、東堀越地内の果樹（庄内柿）40ヘクタールに被害がありました。

被害農家戸数：100戸

被害作物：庄内柿

被害減収量：80t

被害面積：40ヘクタール

被害額：1,600万円

被害程度：落葉、破葉等

また、落雷の影響により、上藤島、渡前地内が停電になり、21時30分頃復旧しました。

19. 第19回けん玉道西東北大会で優勝

6月9日(土)、けん玉の生産日本一の長井市において、第19回けん玉道西東北大会が開かれ、長沼小学校から13名の子どもたちが参加しました。

競技の結果、女子の部で5年大沼茜さんが見事優勝し、3年連続の全国大会出場